

普通会計決算の概要について

普通会計とは、公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計としてまとめたものをいい、総務省の地方財政状況調査（決算統計）に係る会計区分であり、地方公共団体相互間の比較や時系列比較が行い易い会計区分である。

平成26年度の普通会計は、一般会計、中小企業従業員退職金等福祉共済事業特別会計、知多半田駅前土地区画整理事業特別会計、乙川中部土地区画整理事業特別会計、学校給食特別会計、黒石墓地事業特別会計の6会計から構成され、その決算額は地方財政状況調査として報告をしている。

普通会計の決算額は、各会計を単純に合算するのではなく、各会計間の重複部分（繰入金、繰出金）を控除した純計決算額である。この調査結果は、各種財政分析の資料として用いられるものであり、国の地方財政白書や地方財政の分析・検討等に広く利用されている。

本市の過去5年間の普通会計決算のあらましは次のとおりである。

普 通 会 計 収 支 等 の 状 況 (単位：千円、%)

区 分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
歳 入 総 額 A	36,862,690	36,649,016	36,668,653	38,950,434	45,127,861
歳 出 総 額 B	35,827,261	35,682,457	35,051,504	36,824,151	43,519,700
歳入歳出差引額 C=A-B	1,035,429	966,559	1,617,149	2,126,283	1,608,161
翌年度へ繰り越すべき財源 D	33,190	20,054	454,524	697,985	439,326
実 質 収 支 E=C-D	1,002,239	946,505	1,162,625	1,428,298	1,168,835
単 年 度 収 支 F	134,462	△ 55,734	216,120	265,673	△259,463
積立金（財調） G	1,328,954	570,954	544,820	541,182	947,566
繰上償還金 H	29,753	52,548	0	0	0
積立金取り崩し額 I	0	96,297	218,902	646,072	39,716
実質単年度収支 J=F+G+H-I	1,493,169	471,471	542,038	160,783	648,387
実 質 収 支 比 率	4.3	4.1	4.9	5.9	4.8
積立金現在高（財調）	2,569,554	3,044,210	3,370,128	3,265,238	4,173,088
土 地 開 発 基 金	400,627	400,673	401,282	401,830	402,387
地 方 債 現 在 高	30,726,184	28,151,206	25,943,282	23,484,875	21,497,432
債 務 負 担 行 為 額	1,909,289	1,378,403	2,751,448	7,729,771	2,856,118
土地開発公社借入残高	4,342,875	4,246,291	3,640,132	3,386,620	2,408,088

（注）23年度の積立金現在高（財調）及び26年度の土地開発基金は、端数整理により△1千円調整している。

実質収支比率：実質収支額 ÷ 標準財政規模 × 100

平成26年度の普通会計決算は、歳入総額は 45,127,861千円で前年度比 15.9%増（前年度 6.2%増）となり、歳出総額は 43,519,700千円で前年度比 18.2%増（前年度 5.1%増）となった。

歳入歳出差引額は、1,608,161千円で、実質収支は1,168,835千円の黒字決算となり、単年度収支は△259,463千円、実質単年度収支は 648,387千円となった。また、実質収支比率は、前年度より1.1ポイント減の4.8%であった。